

**市メール** 回覧をお願いします

令和3年5月10日

横浜市立中学校長様  
横浜市立中学校教育研究会社会科部会会員の皆様  
(横浜市立中・義務教育学校社会科関係職員)

横浜市立中学校教育研究会  
社会科部会会長 山下 昌永  
(横浜市立西本郷中学校長)

令和3年度

横浜市立中学校教育研究会社会科部会 書面総会資料送付について

日頃より本部会の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。書面総会資料を送付いたしますので、社会科部会会員および社会科関係職員の皆様に回覧していただき、書面表決書のご提出をお願いいたします。

なお、書面総会資料につきましては、浜中社ホームページにも掲載しておりますので、こちらからも内容を確認することができます。ご活用ください。

<横浜市立中学校教育研究会社会科部会（浜中社）ホームページ>

横浜市立中学校社会科研究会公式HP

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/sch/kenkyu/jhs-syakai/index.html>



令和3年度 横浜市中学校社会科研修会・横浜市立中学校教育研究会社会科部会会員総会

日 時 令和3年5月12日(水) ~~14時30分開会~~

会 場 ~~横浜市開港記念会館~~ 新型コロナウイルス感染予防のため書面開催

《次 第》

~~I部 横浜市立中学校社会科研修会~~

- ~~1 開会の言葉~~
- ~~2 研究会長挨拶~~
- ~~3 横浜市教育委員会挨拶~~
- ~~4 新採用者紹介~~
- ~~5 講演会~~

~~演題「学習指導要領全面実施にむけて社会科授業に求められるもの」~~

~~講師 中嶋 則夫 氏~~

~~(文部科学省 初等中等教育局教育課程課 教科調査官)~~

\*\*\*\*\*休憩\*\*\*\*\*

II部 横浜市立中学校教育研究会社会科部会会員総会(書面総会)

- 1 議事
  - (1)令和2年度活動報告
  - (2)令和2年度会計報告
  - (3)令和2年度会計監査報告
  - (4)令和3年度活動計画案
  - (5)令和3年度予算案
  - (6)令和3年度新役員認証
- 2 会長より報告
- 3 新旧役員の紹介と挨拶
- 4 閉会の言葉

~~\*会場の都合上、16:45で終了します。ご了承ください。~~

## ごあいさつ

横浜市立中学校教育研究会  
社会科部会長 山下 昌永

日頃より社会科部会の活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。新学習指導要領全面実施となる今年こそ、会員の皆様と顔を合わせて、さまざまな情報を共有しながら、生徒にとって深い学びが得られる授業実践について協議する機会が得られればと考えていたところですが、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからない状況が続いており、令和3年度の研究総会も書面による開催となってしまいましたことを非常に残念に思います。

特に研究総会に先立って実施予定だった研修会では、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の中島則夫先生を講師にお招きし、「学習指導要領全面実施に向けて社会科授業に求められるもの」について、地理的分野を中心にご講演いただく予定でした。今年1月に文部科学省初等中等教育局視学官の藤野敦先生を講師にお招きして実施した冬季講演会は募集から2日間で定員オーバーとなってしまいました。学習指導要領全面実施に向けて、会員の皆様の関心の高さが感じられましたので、今回はできるだけ多くの方にご参加いただければと準備をしておりました。今後、日程を調整して、改めて研修の場が設けられるように準備を進めていきたいと思っております。

さて、関東ブロック中学校社会科教育研究大会横浜大会については、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、令和3年度に延期して実施することといたしました。本年10月29日に開催予定となっております。現下の感染状況を踏まえると、従来のような研究大会の開催は難しいと考えております。オンラインシステムを取り入れるなど、会員の皆様が安全にご参加いただけるよう開催方法等を工夫して実施したいと考えております。皆様のお力添えをいただきながら、明日からの授業に活用できる研究大会にしていきたいと思います。

令和3年度も新型コロナウイルス感染状況を踏まえながらの研究会活動となり、十分な活動ができない面はありますが、可能な限り情報提供や会員の皆様との交流に努めてまいります。本議案書では、令和2年度活動報告および令和3年度活動計画等をご提案させていただきました。会員の皆様にご審議いただき、より充実した研究会活動が実施できるようにご意見を賜ることができれば幸いです。よろしく願いいたします。

## 令和2年度 研究部活動報告

浜中社研究部

研究テーマ 「よりよい社会を実現する力を育む社会科学習」  
～社会的な見方・考え方を働かせた深い学びをめざして～

研究の方針 ○研究テーマに沿った授業づくりの研究

- ・単元をつらぬく「問い」の設定と「社会的な見方・考え方」を働かせる授業についての研究を進める。
- ・協働的な活動を取り入れた授業について、研究を進める。
- ・授業づくりをはじめ、社会科教育に関する社会科教職員相互の情報交換および学び合いを行う。
- ・市教委や博物館等、外部機関との連携を行う。

メンバー ○各区研究担当主任 + 浜中社研究部役員 + 関ブロ研究推進委員

	研究部会	市教育委員会	浜中社・特別委員会
4月	総会準備		
5月	紙面 総会		
6月	研究部会		
7月	研究部会		
9月	研究部会		
10月	研究部会		
12月	研究部会		
1月	研究部会	1 / 20 冬季講演会 共催	
3月	研究部会		

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大にともない、活動を大幅に縮小致しました。

# 令和2年度 研修部活動報告

## ●横浜みなと巡検 → 中止

- 1 日 時 5月23日(土) 8:30~12:30
- 2 集 合 大通り公園 (旧横浜市教育文化センター前) 解散 中華街
- 3 講 師 横浜の社会科を語る会の会員 (元浜中社の役員・会員)

## ●夏季研修講座(横浜市教育委員会共催) → 中止

- 1 日 時 7月31日(金) 午前の部Ⅰ 地理歴史講座 9:30~11:00  
午前の部Ⅱ 夏季巡検事前説明会 11:10~12:00  
午後の部 指導技術養成講座 13:30~16:00
- 2 会 場 ニュースパーク(日本新聞博物館)

## ●第56回夏季巡検「京浜今昔巡検(仮)」 → 次年度延期

- 1 日 時 8月下旬
- 2 巡検地 鶴見・川崎の臨海部を中心に
- 3 講 師 <指導講師> 松岡 茂房 先生(大道中学校副校長)  
<巡検講師> 磯 崇仁 先生(南瀬谷中学校) 奥 仁志 先生(すすき野中学校)  
加藤 周人 先生(大正中学校)

## ●横浜市立学校総合文化祭「社会科研究発表会」・「社会科作品展」 → 中止

### <社会科研究発表会>

- 1 日 時 12月12日(土) 横浜市歴史博物館講堂
- 2 内 容 授業・総合的な学習など、日ごろの学習活動を通して得た研究成果の発表を行う。

### <社会科作品展>

- 1 日 時 令和2年12月12日(土)~令和3年1月11日(月)  
横浜市歴史博物館常設展示室
- 2 内 容 夏季休業中を中心に学習・研究した成果や日々の社会科の学習で制作した各中学校の代表作品の展示を行う。

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動を大幅に縮小いたしました。

令和3年5月12日

## 令和2年度 事務局活動報告

### 1. 事務局の活動

- (1) 会員名簿の作成・発行
- (2) 講演会（冬季）の準備
- (3) 各種出張依頼の作成・送付
- (4) 会計全般
- (5) その他、研究会全般に関わること

### 2. 講演会について

#### (1) 冬季講演会

開催日 令和3年1月20日（水）15時30分より

会 場 花咲研修室

テーマ「学習指導全面実施に向けて社会科授業に求められるもの」

講 師 文部科学省初等中等教育局 視学官 藤野 敦 氏

※春季講演会については、感染症拡大防止のため、中止となりました。また、研究会報は、今年度、各区の研究活動が通常のように行われなかったため、発行できませんでした。

### 1. 収入の部

項目	摘要	予算額	決算額
繰越金 会費 補助金 その他	前年度繰越金	486	486
	浜中社会費	100,000	0
	市教育研究会交付金	190,000	168,400
	合計	290,486	168,886

### 2. 支出の部

項目	摘要	予算額	決算額
分担金	全国中学校社会科教育研究会	15,000	15,000
	関東ブロック中学校社会科教育研究会	20,000	20,000
	県公立中学校教育研究会社会科部会	23,800	0
	振込手数料	1,000	1,100
	小計	59,800	36,100
研究会報	研究会報 600部	163,200	0
	振込手数料	1,000	0
	小計	164,200	0
事務費	印刷用紙(A4)	30,000	7,978
	会員名簿代	26,000	0
	振込手数料	1,000	0
	事務用品費	2,000	0
	運搬費	5,000	0
	小計	64,000	7,978
その他	予備費	1,584	0
	関ブロ大会延期案内送付代		7,978
	関ブロ大会研究資料代		52,272
	関ブロ大会準備機材費		57,050
	感染症対策費(消毒液・体温計代)		5,874
	小計	1,584	123,174
戻入	市教育研究会交付金残 戻入		708
	市教育研究会交付金残 戻入振込手数料		440
	小計		1,148
	合計	289,584	168,400

差引残高 168,886円-168,400円=486円

※残高の486円は、次年度に繰り越します。

上記の通り、報告いたします。

令和3年 3月31日

横浜市立中学校教育研究会社会科部会

会長 山下 昌永

会計 高橋なお子

上記の通り、相違ありません。

会計監査 八木 範夫

会計監査 中村 雅一

## 令和3年度 浜中社 研究テーマ (案)

### 研究テーマ 「よりよい社会を実現する力を育む社会科学習」

#### ～社会的な見方・考え方を働かせた深い学びをめざして～

##### (1) これまでの成果と課題

一昨年度も「よりよい社会を実現する力を育む社会科学習～社会的な見方・考え方を働かせた深い学びをめざして～」という研究テーマで活動し、10月と11月に研究授業を提案した。2回の研究授業では、「何故その授業をする必要があるのか」という授業者の問題意識を追究することを意識して授業を構成し、「深い学び」をどのようにして実現させるかを検証した。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、市内各校で研究授業を実施することはできず、横浜で開催予定であった関東ブロック大会も令和3年度へ延期となった。今年度10月に実施される関東ブロック大会の研究授業の主題について、研究部として次のように考えている。

近年、未来を予測することが難しいということがさかんに言われるようになってきたが、昨年1月より始まった新型コロナウイルスの世界的大流行により、誰しもが予測不能な未来に直面していることに気付かされた。社会が大きく変化することにもとまらぬ、これまでの価値観が大きく揺らぎ始めている今日において、「よりよい社会を実現する力」とはどのような力を指すのであろうか。浜中社研究部としては、価値観が多様化して社会の変化が激しい現代社会において、人間として社会で起きている問題とどう向き合い、その問題をどう捉えて、どう考えるのか。このように考えられる力を「よりよい社会を実現する力」と捉えたい。

次に、「深い学び」については、新学習指導要領でも明記されている「主体的・対話的で深い学び」を指している。「主体的」という言葉自体にさまざまな意味が含まれるが、今回の研究では、特に粘り強く取り組む姿勢を重視して捉えたい。

また、「対話的な学習」という語句については、4つの要素があると考えている。「1 授業者と教材の対話」「2 授業者と生徒がする対話」「3 生徒が教材とする対話」「4 生徒同士がする対話」である。今回の研究では、主体的・対話的な学習を実現するためには「1 授業者と教材の対話」つまり授業者が「何故その授業をしなければならないのか。何故それを教えなければならないのか。」という授業者による問題意識の追求が徹底的に行われなければならないと考えている。

さらに、「深い学び」については、その学習をすると、社会を分析する目が養われたと感じられる学びと捉えたい。以上のように研究主題を設定した上で、関東ブロック大会の研究授業に臨みたい。

##### (2) 今年度の研究

今年度は10月に関東ブロック中学校社会科教育研究大会が横浜市で開催される。大会テーマが「よりよい社会を実現する力を育む社会科学習～社会的な見方・考え方を働かせた深い学びをめざして～」なので、今年度も同様のテーマで研究を進め、基調提案と研究授業を提案したい。特に「深い学び」については「主体的・対話的で深い学び」と捉え、主体的については粘り強く考えること、対話的については単に協同的な学習のみと捉えずに、授業者と材との対話(問題意識の徹底的な追究)、生徒と材との対話、授業者と生徒との対話も含めて対話的と捉えたい。そして、深い学びについては、社会的な見方・考え方を働かせることにも着目しながら研究を進めたい。

# 令和3年度 研究部活動計画(案)

浜中社研究部

研究テーマ 「よりよい社会を実現する力を育む社会科学習」

～ 社会的な見方・考え方を働かせた深い学びをめざして ～

研究の方針 ○研究テーマに沿った授業づくりの研究

- ・単元をつらぬく「問い」の設定と「社会的な見方・考え方」を働かせる授業についての研究を進める。
- ・授業づくりをはじめ、社会科教育に関する社会科教職員相互の情報交換および学び合いを行う。
- ・市教委や博物館等、外部機関との連携を行う。

メンバー ○各区研究担当主任 + 浜中社研究部役員 + 関ブロ研究推進委員

	研究部会	市教育委員会	浜中社・特別委員会
4月	総会準備		関ブロ研究推進委員会
5月	5 / 1 2 総会・講演会		
6月	研究授業		関ブロ研究推進委員会
7月	研究部会		関ブロ研究推進委員会
8月	研究部会	8月下旬 教育課程	8 / 2 夏季研修講座
9月	研究部会		関ブロ研究推進委員会
10月	関東ブロック大会 本番	研究授業 共催	関ブロ研究推進委員会
11月	大会反省		関ブロ研究推進委員会
12月	研究部会	市総合文化祭	
1月	研究部会	1 / 1 9 冬季講演会 共催	
2月	研究部会		
3月	研究部会		

令和3年度 各区研究担当校：研究部会・研究会報の原稿が主な仕事になります。

鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子
潮田	神奈川	岩井原	大鳥	南	日野南	新井	今宿	森
金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷
六浦	樽町	緑が丘	あざみ野	茅ヶ崎	南戸塚	小山台	中和田	南瀬谷

※ 上記担当校は、令和2年度の担当を変更せずに記載しております。区によっては輪番を変更、または、次の担当校に引き継いでいる区もあると思いますので、令和3年度が担当ではないのに学校名が記載されている場合は、研究部長の井上までご連絡ください。（金沢中学校 井上弘毅 tel 781-2412 [ko11-inoue@city.yokohama.jp](mailto:ko11-inoue@city.yokohama.jp)）

# 令和3年度 研修部活動計画（案）

## ●横浜みなと巡検

- 1 日時 10月以降を予定
- 2 集合 大通り公園（旧横浜市教育文化センター前） 解散 中華街
- 3 内容 講師：未定  
\* 関内周辺から横浜港までのエリアで、横浜の歴史を辿ることができる場所を巡る。  
港町横浜に興味のある方や初任者の方、県外出身の方で横浜のことをもっと知りたいと考えている方に向けての内容を予定している。

## ●夏季研修講座（横浜市教育委員会共催）

- 1 日時 8月2日（月） 9：30～11：00
- 2 会場 ニュースパーク（日本新聞博物館）
- 3 内容 **指導技術養成講座**  
\* 関東ブロック大会の研究報告及び、新指導要領に関連した研修を予定している。

## ●第56回浜中社巡検 「京浜今昔巡検（仮）」

- 1 日時 12月～1月を予定
- 2 巡検地 鶴見・川崎の臨海部
- 3 講師 <指導講師> 松岡 茂房 先生（港南中学校副校長）  
鈴木 浩 先生（新井中学校副校長）  
<巡検講師> 磯 崇仁 先生（南瀬谷中学校）  
奥 仁志 先生（すすき野中学校）  
加藤 周人 先生（大正中学校）

## ●横浜市立学校総合文化祭「社会科研究発表会」・「社会科作品展」

<社会科研究発表会>

- 1 日時 12月11日（土）横浜市歴史博物館講堂
- 2 内容 授業・総合的な学習など、日ごろの学習活動を通して得た研究成果の発表を行う。

<社会科作品展>

- 1 日時 令和3年12月11日（土）～令和4年1月10日（月）  
横浜市歴史博物館常設展示室
- 2 内容 夏季休業中を中心に学習・研究した成果や日々の社会科の学習で制作した各中学校の代表作品の展示を行う。

※ 今後の感染状況などにより、変更があることをご承知おきください。

令和3年度 各区行事担当校：社会科作品展の運営が主な仕事です。

鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子
上の宮	六角橋	西	本牧	南が丘	丸山台	宮田	左近山	岡村
金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷
金沢	樽町	十日市場	奈良	都田	南戸塚	飯島	泉が丘	原

※ 上記担当校は、令和2年度の担当を変更せずに記載しております。区によっては輪番を変更、または、次の担当校に引き継いでいる区もあると思いますので、令和3年度が担当ではないのに学校名が記載されている場合は、研修部長の中島までご連絡ください

（共進中学校 中島司 tel 711-5091 ts04-nakajima@city.yokohama.jp ）

令和3年5月12日

## 令和3年度 事務局活動計画（案）

### 1. 事務局の活動

- (1) 会員名簿の作成・発行
- (2) 講演会（春季・冬季）の準備
- (3) 研究会報の作成・発行
- (4) 各種出張依頼の作成・送付
- (5) 会計全般
- (6) その他、研究会全般に関わること

### 2. 講演会について

#### (1) 春季講演会

開催日 令和3年5月12日（水） 14時30分より

会場 横浜開港記念会館

テーマ 「学習指導要領全面実施に向けて社会科授業に求められるもの」

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 中嶋 則夫氏

#### (2) 冬季講演会

日時 令和4年1月19日（水） 15時30分より

会場 未定

テーマ 未定

講師 未定

令和3年度 横浜市立中学校教育研究会 社会科部会 予算案

1. 収入の部

費目		令和3年度予算	摘要
内訳	1	前年度繰越金	486
	2	浜中社会費	100,000 200円×500口(令和元年度実績)
	3	市教育研究会交付金	168,400 令和2年度実績
合計		268,886	

2. 支出の部

費目		令和3年度予算	摘要
分担金	関東ブロック中学校社会科教育研究会	20,000	
	全国中学校社会科教育研究会	15,000	
	県公立中学校教育研究会社会科部会	23,800	
	振込手数料	2,000	
	小計	60,800	
研究会報	研究会報600部	163,000	会員へ発送、関係機関保存
	振込手数料	1,000	
	小計	164,000	
事務費	印刷用紙(A4)	10,000	名簿、資料用
	振込手数料	1,000	
	事務用品費	1,000	
	運搬費	5,000	資料、備品運搬
	小計	17,000	
その他	感染症対策費	5,000	
	予備費	22,086	
	小計	27,086	
合計		268,886	

上記のとおり、提案します。

令和3年 3月31日

横浜市立中学校教育研究会社会科部会

会長 山下 昌永

会計 高橋なお子

## 令和3年度 横浜市立中学校教育研究会社会科部会役員候補（案）

横浜市立中学校教育研究会社会科部会  
役員候補指名委員会委員長 長澤 茂雄  
(横浜市立老松中学校長)

役職名	氏名	学校名	職名	備考	
会長	山下 昌永	横浜市立 西本郷 中学校	校長	留任	
副会長	間邊 浩二	横浜市立 松本 中学校	校長	留任	
	緒方 浩臣	横浜市立 港 中学校	校長	新任	
	松下 伊織	横浜市立南希望が丘中学校	主幹教諭	留任	
研究部	部長	井上 弘毅	横浜市立 金沢 中学校	教諭	留任
	副部長	山口 大輔	横浜市立 荏田南 中学校	主幹教諭	留任
		米津 一豊	横浜市立 六角橋 中学校	教諭	留任
		石井 大介	横浜市立 老松 中学校	教諭	留任
研修部	部長	中島 司	横浜市立 共進 中学校	教諭	留任
	副部長	栗川 真悟	横浜市立 若葉台 中学校	教諭	留任
		松本 大輝	横浜市立 いずみ野 中学校	教諭	留任
		近藤 匠	横浜市立 瀬谷 中学校	教諭	留任
			横浜市立	中学校	
事務局	局長	相磯 達夫	横浜市立 中川 中学校	教諭	新任
	庶務	田川 貴章	横浜市立 谷本 中学校	教諭	留任
		早川 真央	横浜市立 西 中学校	教諭	新任
			横浜市立	中学校	
	会計	山田 寛和	横浜市立洋光台第一中学校	主幹教諭	新任
会計監査	八木 範夫	横浜市立 樽町 中学校	校長	留任	
	中村 雅一	横浜市立 万騎が原 中学校	校長	留任	

令和3年度

## 【浜中社 特別委員会】

## ＜人権教育特別委員会＞

\* 関東ブロック中学校社会科教育研究大会横浜大会開催のため、活動を休止します。

## ＜授業づくり特別委員会＞

委員長 生出 宏 (横浜市立大綱中学校 校長) 留任

## 【神奈川県中学校社会科研究会役員】

会長 石川 博 (横浜市立西中学校 校長) 新任

書記 堤 拓 (横浜市立高田中学校 主幹教諭) 新任

会計 出村 綾乃 (横浜市立西本郷中学校 主幹教諭) 新任

## 令和3年度 関ブロ実行委員会組織

<b>実行委員長</b> 山下 昌永（西本郷中） <b>実行副委員長</b> 間邊 浩二（鶴見中）
（業務）①関ブロ中社研理事会对応（報告・当日の運営等） ②上部団体・研究団体・校長会・行政（文科省・県教委・市教委）連絡調整 ③会場校校長・語る会・浜中社顧問への連絡調整

<b>横浜大会事務局</b>
<b>事務局長</b> 松岡 茂房（港南中） <b>副事務局長</b> 鈴木 浩（新井中）   松下 伊織（境木中） 田川 貴章（谷本中）   大谷 英輔（丸山台中・会計担当） <b>事務局員</b> 各リーダー・県関係者・浜中社役員
○会計・物品購入 ○連絡調整 ①来賓係（名簿の作成と依頼文送付等） ②講師係（講演者や指導講師との連絡） ③他都市発表者係（発表依頼・原稿依頼・連絡） ④案内係（2次案内の作成・送付） ⑤実行委員会係（会合） ⑥研究紀要編集・発行 ○企画立案 ①会員係（会員や区研との連携等） ②広報係（HP・メディアへの告知）

総務チーム（浜中社事務局）	運営チーム（浜中社研修部）	研究チーム（浜中社研究部）
<b>リーダー</b> 濱崎 利司（鴨志田中） <b>サブ</b> 緒方 浩臣（港中） 長澤 茂雄（老松中） 中村 雅一（万騎が原中） 高橋 浩二（岡村中） 廣瀬 徹志（岡津中） 加藤 幸也（平楽中） <b>部員</b> 浜中社事務局	<b>リーダー</b> 間邊 浩二（松本中） <b>サブ</b> 八木 範夫（樽町中） 荻野 弘（新羽中） 築瀬 一爾（新田中） 山本 俊輔（桂台中）  <b>部員</b> 浜中社研修部 会場校担当	<b>リーダー</b> 生出 宏（大綱中） <b>サブ</b> 白倉 輝満（本牧中） 山我 智康（富岡中） 瀬戸山佑介（老松中） 鈴木 浩（新井中）  <b>部員</b> 浜中社研究部 研究推進委員
①募集（業者対応） ②業者対応（ブース） ③参加者へ手渡す物品 封筒、パンフ、会場図 名札、領収証など ④スタッフ名札・名刺 ⑤弁当手配 ⑥レセプション準備運営	①全体会運営 ・会場   ・記録 ・受付   ・進行 ②分科会運営 ・会場   ・他都市発表者 ・受付   ・講師対応 ・進行   ・会員動員 ・来賓対応	①研究理論（全体会発表） ②研究授業準備 ③研究協議会運営（司会） ④分科会記録 （写真・議事録） ⑤会場校保護者への通知 ⑥研究部だより発行 ⑦研究紀要原稿作成



令和3年5月12日

横浜市立中学校教育研究会社会科部会会員の皆様

横浜市立中学校教育研究会  
社会科部会会長 山下 昌永  
(横浜市立西本郷中学校長)

## 令和3年度 浜中社 会費納入のお願い

日頃より社会科部会（浜中社）の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、浜中社では平成21年度より会費制を導入いたしました。納入につきましては任意ですが、現在の浜中社の活動と中学校教育研究会の状況等を理解していただき、ご協力をお願いしています。

会員の皆様から納入いただきました会費により、一層充実した研究会活動を進めてまいります。趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

### <会費の納入手続きについて>

- 会費は任意で、1口200円です。最大5口までお願いしています。
- 管理職が社会科である場合はお声をおかけください。
- 新型コロナウイルス感染状況を踏まえ一堂に集まることができませんので、各区の教科研究会の際にお持ちいただき、区研究担当の先生にお渡しくださいますようお願いいたします。
- 区研究担当の先生は、お手数ですが「貴重品扱い」で、現金と会費納入票を添えて会計担当（洋光台第一中学校・山田）まで市メールにてお送りくださいますようお願いいたします。
- 後日、会計担当より会員の皆様に領収書をお送りいたします。

キリトリセン

## 令和3年度 浜中社 会費納入票

\*必要事項をご記入の上、現金と合わせて区研究担当の先生にご提出ください。

区 学校名 中学校

職	ご氏名	口数	金額
※記入例 副校長	横浜 一郎	2	¥400
合計（口数・金額）			



# 学校メール便

栄区 松本中学校

校長 間邊 浩二 宛

## 書面表決書

令和3年度横浜市立中学校教育研究会社会科部会の議事につきましては、

すべて承認いたします。

承認される方の氏名をご記入ください。(社会科の管理職にも必ず回覧してください)


議案に対して質問・意見がある会員の皆様には、以下の欄にご記入くださいますようお願いいたします

※どの議案についてのご質問・ご意見かが分かるようにお書きください。

会員氏名 \_\_\_\_\_ 所属校名 \_\_\_\_\_

★締切：令和3年5月28日（金）【必着】

★市メール便にて本用紙をそのまま送付、又は封筒に本用紙を入れて送付してください。



令和3年5月10日

横浜市立中・義務教育学校社会科関係職員様

横浜市立中学校教育研究会  
社会科部会会長 山下 昌永  
(横浜市立西本郷中学校長)  
事務局 会員名簿担当

## 令和3年度横浜市立中学校教育研究会社会科部会

### 会員名簿作成の依頼について

日頃より本部会の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

各学校におかれましては、今年度もご異動された先生方や新採用の先生方を迎え、新年度が動き出したことと思います。

つきましては、今年度の名簿作成にご協力をお願いいたします。昨年度と同じように、5月7日に各学校の先生方（在籍されている先生のいずれか）にEメールでもご依頼しておりますので、ご確認ください。お忙しい中とは存じますが、

**令和3年5月28日（金）までに 西区 西中学校 早川 真央 宛**  
(メール：[ma11-hayakawa@city.yokohama.jp](mailto:ma11-hayakawa@city.yokohama.jp))

にEメールにてご送付ください。お忙しい中ですが、ご協力をお願いいたします。

なお、メールがご確認できなかった際は、裏面の用紙にご記入いただき、FAXにてご連絡ください。

問合せ先：横浜市立中学校教育研究会社会科部会  
事務局 早川 真央（西中学校）  
Eメール：[ma11-hayakawa@city.yokohama.jp](mailto:ma11-hayakawa@city.yokohama.jp)

西区 西中学校 (Fax : 045-253-7073)  
早川 真央 宛

## 令和3年度 社会科会員名簿の作成について

所属校名 \_\_\_\_\_ 区 \_\_\_\_\_ 中学校

記入例

<input type="checkbox"/> ・・・教科主任	<input type="checkbox"/> ・・・新採用
<input type="checkbox"/> ・・・臨任	<input type="checkbox"/> ・・・非常勤

社会科職員の氏名をご記入ください。(社会科の管理職も必ずご記入ください)

名前	記号

★締切：令和3年5月28日（金）【必着】